

校門坂

～ 輝く薩摩中央 ～

平成30年 8月11日 (土) 南日本新聞

南日本新聞に生物生産科果樹班の鹿児島県教育長への梨贈呈による表敬訪問が掲載されたので紹介します。



消し印
▽：鹿児島県内の農業系高校で唯一ナシ園を持つ薩摩中央高校(さつま町)の3年生が10日、県庁を訪れ、実習で育てたナシを県教育委員会の東條広光教育長(同町出身)に贈った。写真。

▽：果樹専攻の南部武琉さん、大重菜摘さん、左近允杏奈さんの3人。5月から摘果、袋かけをし、8月6、7の両日に収穫した。20㌔で豊水など4品種を栽培している。

▽：好天に恵まれ、出来は上々。3人は「シャキシャキして甘い。愛情を込めて育てたので、おいしさ間違いナシ！」と太鼓判を押した。9月8日の体育祭で販売する。

(藤崎慎二)